

ぼくは、こっくさん

たかおにししよーねん かま まさき

とん、とん、とん。ゆうかたになると、お

かあさんが、よるごはんをつくります。

「ぼくも、おてったいしたい。」

と、いうと、「あかあさんに、」

「おこめはかってちやうだい。」

と、おあがいさあます。ぼくがおこめをはか

ると、とぐのはおにいちやんのしごとです。

ぼくはまだとげません。つきに、

「なっとうまぜまげよろしくね。」

と、おあがいさあます。これがひとりです。
るとくいなおてっだいです。

ようちえんのときに、おばけのこっくさ

んもというほんをよみました。そのほんをよ

んで、こっくさんが、つぎりようりをつく

るのが、こっくさんか、つぎりようりをつく

から、ぼくは、りようりをつくりたいとおもう

ようになりました。あかあさんといっしよ

りようりをつくるときは、ぼくはこっくさん

になったつもりでおったかいをします。おか
あさんは、ときどきほうちやうをつかって
さいをきらせてくれます。きゆうりぎで、
しーちさんをまげて、さらだをつくらたこと
があります。おかあさんは、
「こわい、てをきらないでね。」
と、いいながら、ひとりできらせてくれます。
ひとりですると、
「ぼくはこっくさん。」
と、うれしくなります。

ぼくは、いつがおもしろいをつくらてみた
いです。ちさいはくれます。いためることも
できます。たまごもくれます。あとは、こめ
とぎをこうかくして、おこめをひとりでたげ
るようになります。しんぱいなのは、あ
じつけと、きれいにしあがるがです。たまご
をいあぶあにするのがむずかしそうだから、
たまごりゅうりをあんしゅうしたいです。た
くさんおてつだいをして、ニねんせいになっ
たらおいしいおもしろいをつくらたいです。